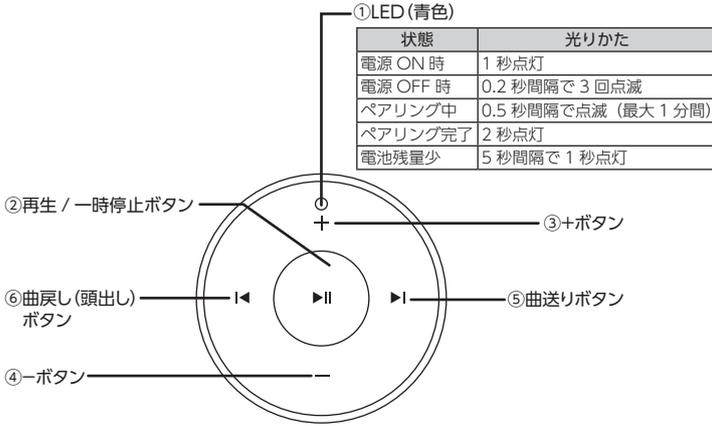


このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
"LAT-RC01"シリーズは Bluetooth でスマートフォンの音楽再生やカメラのシャッターを操作する機器です。
この取扱説明書には"LAT-RC01"シリーズの操作方法と安全にお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用前に必ずお読みいただき、読み終わったあとも大切に保管してください。
※ この取扱説明書では一部表記を除き"LAT-RC01"シリーズを「本製品」と表記しています。

各部の名称



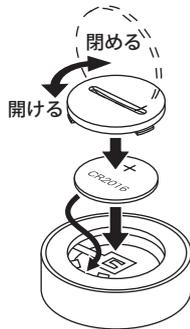
ご使用前の準備

■電池を入れる

ご使用前に、本製品に付属のボタン電池を次の手順で入れます。

- 1 コインなどで本製品裏面の電池蓋を開けます。
- 2 +極が上に向くように、電池を入れます。
- 3 コインなどで電池蓋をしっかりと閉めます。

- ① 電池を交換する場合は、指定の電池 (CR2016) 以外は使用しないでください。
- 電池を入れる際には 2 つの飛び出した電極の下に落とし込ませるように設置してください。
- 蓋は 5mm 程度稼働させることで開閉できます。



■本製品を取りつける

○車のダッシュボードなどに直接貼り付けて使用する場合

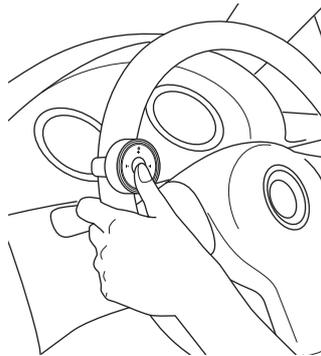
- 1 付属の両面テープを剥離紙から剥がして、本体の裏面に貼り付けます。
- 2 もう片方の剥離紙を剥がして、車のダッシュボードに貼り付けます。

- ① 両面テープを貼り付ける面の材質が、本革・合皮・スエード・布張りなどの場合は、表面を傷める場合があるので、本製品を取りつけないでください。
- 付属の両面テープは粘着力が強いため、一度貼り付けると剥がしにくくなる場合があります。予めご了承ください。

○付属ハンドルホルダーを使用する場合

- 1 本製品をハンドルホルダーにセットします。
- 2 ハンドルホルダーを車のハンドルに取り付けます。

- ① エアバッグなど安全装置の妨げになる場所や、ウィンカー、シフトレバーなど運転操作に支障がある場所には取り付けしないでください。
- 視界や運転操作の妨げとなるような取り付けはしないでください。
- 本製品及びに接続機器の運転中の操作は大変危険ですので絶対にしないでください。必ず安全な場所に停車させてから操作を行ってください。



接続方法 (操作手順)

- 1 音楽を再生するスマートフォン端末など接続機器の Bluetooth 機能をオンにします。
- 2 本製品の再生 / 一時停止ボタンを約 2 秒間押し続けます。LED が 1 秒間点灯し電源 ON になってから、ペアリングモードに移行し、LED が 0.5 秒間隔で点滅します。接続機器がペアリング済みで、自動再接続設定や信頼設定機能が有効な場合は、この段階で自動接続されます。一度ペアリングをすると、その登録が本製品が接続機器のどちらから削除されるまでペアリング登録の操作は不要です。
- 3 接続機器で Bluetooth 機器を検索し、「LAT-RC01」が表示されたら選択します。パスキーの入力を求めるメッセージが表示される場合は「0000」(ゼロ 4 つ)を入力してください。

- ・ペアリングする機器によっては、あらかじめ機器側で本製品からの通信を許可する操作が必要です。
- ・ペアリングは、本製品と機器を 1m 以内に近づけ、途中に障害物がない状態で行ってください。

■Android 端末の場合(例)



■iPhone の場合(例)



※ 上記の図はあくまで参考例です。メーカーや OS のバージョンの違いなどによって操作が異なる場合があります。操作の詳細は、機器側の取扱説明書を参照してください。

- ・ペアリングモードは約 1 分間続き、その間に Bluetooth 接続またはペアリング登録が完了しないとスリープモードに切り替わります。その場合、再生 / 一時停止ボタンを押すことで再度ペアリングモードに移行できます。

- 4 本製品の LED が 2 秒点灯のあと消灯すると、ペアリングと Bluetooth 接続は完了です。

- ① 接続機器によっては、ペアリング後に Bluetooth 接続操作が必要な場合があります。その場合は、接続機器の取扱説明書をお読みになった上で接続操作を行ってください。
- 機器の設定や状態などによりペアリングが完了しない場合は、いったん電源を切り、再度ペアリング操作をやり直してください。
- ペアリングが完了しているにもかかわらず Bluetooth 接続ができない場合は、いったん接続機器のペアリング登録リストから本製品の登録を削除し、再度ペアリングを直してください。

本製品を使用する

各ボタンの操作で次のような動作をします。

動作	操作	動作	操作
再生 / 一時停止	再生 / 一時停止ボタンを押す	カメラシャッター	再生 / 一時停止ボタンまたは + ボタンを押す 例: iPhone の場合 + ボタン
曲送り	曲送りボタンを押す	強制ペアリングモード	+ / - ボタンを同時に約 2 秒間長押し
曲戻しまたは頭出し	曲戻しボタンを押す	電源 ON/OFF	再生 / 一時停止ボタンを約 2 秒間長押し
音量 UP	+ ボタンを押す		
音量 DOWN	- ボタンを押す		

- ・消費電力を抑える為、約 30 分間ボタン操作が行われなかった場合や、接続が遮蔽物や距離などによって切断された場合はスリープモードになります。
- ・スリープモードの状態では、いずれかのボタンを押すと、元々接続していた機器と自動接続を行います。ただし、この場合接続機器の Bluetooth 機能が事前に ON になっている必要がありますのでご注意ください。
- ・機器やアプリ、設定によって動作が異なったり、動作しない場合があります。
- ・Bluetooth 接続状態から強制的にペアリングモードにすることができます。+ ボタンと - ボタンを同時に 2 秒間長押しすることで現在の Bluetooth 接続を解除してペアリングモードに移行します。

無線に関する注意事項

本製品は 2.4GHz帯を使用する無線設備です。この使用周波数帯では Bluetooth のほか、IEEE802.11 b/g/n 規格の無線 LAN 機器や産業・科学・医療用機器、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用構内無線局、及び免許を要さない特定小電力無線局などが運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局、及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、使用場所を変更するか、使用を停止してください。
- 誤動作により重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部からの電波が影響し、誤動作や動作停止などを引き起こす可能性があります。
- 電波が機器などに影響を及ぼす恐れがありますので、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。

安全にお使いいただくために

⚠ 危険

- 本製品の分解・改造・修理などをしてしないでください。火災や感電、火傷の危険があります。また、故障の原因になります。また、分解・改造・修理された製品についての責任・保証は、当社では一切負いかねます。
- エアバッグなど安全装置の妨げになる場所や、ウィンカー、シフトレバーなど運転操作に支障がある場所への取り付けはしないでください。
- 視界や運転操作の妨げとなるような取り付けはしないでください。
- 本製品及びに接続機器の運転中の操作は大変危険ですので絶対にしないでください。必ず安全な場所に停車させてから操作を行ってください。
- 乳幼児の手の届かないところで使用、保管してください。本製品には電池や小さな部品が含まれますので、口に入れてと窒息などの危険があります。

⚠ 警告

- 本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。本製品は工事設計認証を受けた特定無線設備ですので、分解・改造を行うことは法律で禁じられています。また、分解・改造された製品については、保証の対象外となります。
- 本製品から異臭や煙が発生するといった異常を確認した際は直ちに使用を中止してください。
- 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出して保管してください。液漏れや故障の原因になります。
- 夏季に触れないほど熱くなるような箇所には取り付けしないでください。本製品の破損や操作時の火傷の原因となる可能性があります。

⚠ 注意

- 本製品は電波を使用している特性上、ある特定の条件下では他の電波を使用する機器と電波干渉を起こす可能性があります。
- 本製品の使用によって接続機器の故障、保存データの破損や消失、及びに通話などの機会を逃したために発生した損害などの付随的保証については、当社では一切の責任を負いかねます。必ず各種メモリの控えやバックアップを取ってから使用してください。
- 使用中は本製品に熱が生じる場合がありますが故障ではありません。お取り扱いには十分に注意してください。
- 本製品を温度や湿度の高い場所や静電気の発生しやすい場所、埃の多い場所で使用、保管しないようにしてください。
- 本製品の脱落は交通事故や破損、ケガなどの原因となる可能性がありますので、ご使用時には本製品が確実に固定できているか確認してください。
- 未舗装路などの悪路を走行する際は大きな振動や強い衝撃によって、本製品が破損、脱落する恐れがありますので取り外してください。
- 粘着テープは本来の最大粘着力を発揮するまで約 1 日かかります。それまでは粘着テープに大きな力をかけないよう注意してください。
- 粘着テープをはがす際には接着面を傷めたり、糊残りしたり、本製品を破損する場合がありますので、十分注意してゆっくりとはがしてください。また、一度はがした粘着テープは再使用できません。
- 本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからないところで使用または保管してください。
- 本製品が汚れた際は、水または薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色する場合がありますので使用しないでください。
- 経年変化による品質・性能の低下、変色などにつきましてはあらかじめご了承ください。
- 廃棄に関しましては各自治体の規定に従ってください。
- 本製品の仕様及び外観などは改良のため予告なく変更することがあります。

製品仕様

通信方式	Bluetooth® ver.3.0
使用周波数帯域	2.4GHz
通信距離	Class 2 最大約 10m (理論値) ※使用環境により短くなる場合があります
対応プロファイル	HID
使用電池	CR2016 電池 × 1 個
使用温度範囲	0 ~ 40℃ (結露しないこと)
保存温度範囲	-10 ~ 60℃ (結露しないこと)

困ったときは

■ 電源が入らない

- 電池の残量が無くなっている可能性があります。電池を交換してください。電池の残量が少なくなると、LEDライトが5秒間隔で1秒点灯します。この状態を確認したら、早めに未使用の新しい電池と交換してください。

■ ペアリングができない

- 接続機器の登録情報を削除(または解除)し、再度ペアリングから試みてください。
- 接続先のBluetooth機能がペアリング可能な状態であることを確認してください。一般に接続機器側の設定で、機能を有効にする必要があります。接続する接続機器の設定を確認してください。
- 接続機器によってペアリングモードにする手順が異なります。接続機器の操作手順に関しては、ご使用端末の取扱説明書も併せて参照してください。
- Bluetooth機器がうまく検索できない場合は接続機器の再起動を試みてください。

■ いつも再接続していたのに突然再接続しなくなった

- 接続機器によっては、繰り返し再接続している間に、登録情報が失われ、自動で再接続ができなくなることがあります。一度本製品と接続機器をそれぞれ再起動してから再接続を試みてください。それでも再接続できない場合は接続機器側で本製品の接続情報を一度削除し、再度ペアリングを試みてください。

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】

www.elecom.co.jp/support

こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAX によるお問い合わせ(ナビダイヤル)】

エレコム総合インフォメーションセンター

TEL : 0570-084-465 FAX : 0570-050-012

[受付時間] 10:00 ~ 19:00 年中無休

※本製品の保証書は再発行致しませんので内容をお確かめの上大切に保管してください。

各種機器との設定方法は えれさぼで検索!

Q えれさぼ

検索



エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用によるお問い合わせ・サポート対応は致しかねます。また、日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。

Bluetooth リモコン LAT-RC01 シリーズ 取扱説明書 2017年 10月 1日 第 1 版

- 本書の著作権はエレコム株式会社が保有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することは禁止します。
- 本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたらエレコム総合インフォメーションセンターまでお問い合わせください。
- 本製品の仕様及び外観は製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づき輸出または役務取引許可が必要です。
- Bluetooth ワードマーク及びロゴは Bluetooth SIG, Inc が所有する商標であり、エレコム株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。
- Android, Android ロゴは Google Inc. の商標または登録商標です。
- iPhone は、合衆国およびその他の国々で登録されているアップル社の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されます。
- その他本書に記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標ならびに登録商標です。